





# KVK ワンコックサーモスタット式シャワー 取扱説明書1










## KF125(Z)(G)(2)N〈各仕様共通〉

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF125N仕様のイラストで説明しています。

### 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、しては いけない「禁止」の内容です	 この絵表示は、 「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、 「接触禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行して いただく「強制」の内容です
<b>やけど、漏水をした場合の処置</b>	<b>やけど 漏水</b>	やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。	漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<b>警告</b>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p> 禁止</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p> 分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>キャビネット内の湯側配管は熱くなっているため直接肌を触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうか確かめてから吐水してください。</p> <p> 注意</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめてから吐水してください。</p> <p> 注意</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>

## 警告

高温の湯を使用した後は、器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してから止水してください。

次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻してください。

次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがあるため、ハンドルはゆっくり回してください。

やけどをするおそれがあります。

## 注意

**めっき仕様の場合**  
めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は新しい部品に交換してください。

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。シャワーヘッド先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワースタンド開口部へ直接湯水をかけないでください。

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。

吐水レバー操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
- ☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料...診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。	部品代...修理に使用した部品代
☎ 0570-099-552	出張料...製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用
株式会社 KVK 本社・工場 / 〒501-1195岐阜市黒野308	
インターネットホームページ <a href="http://www.kvk.co.jp/">http://www.kvk.co.jp/</a>	

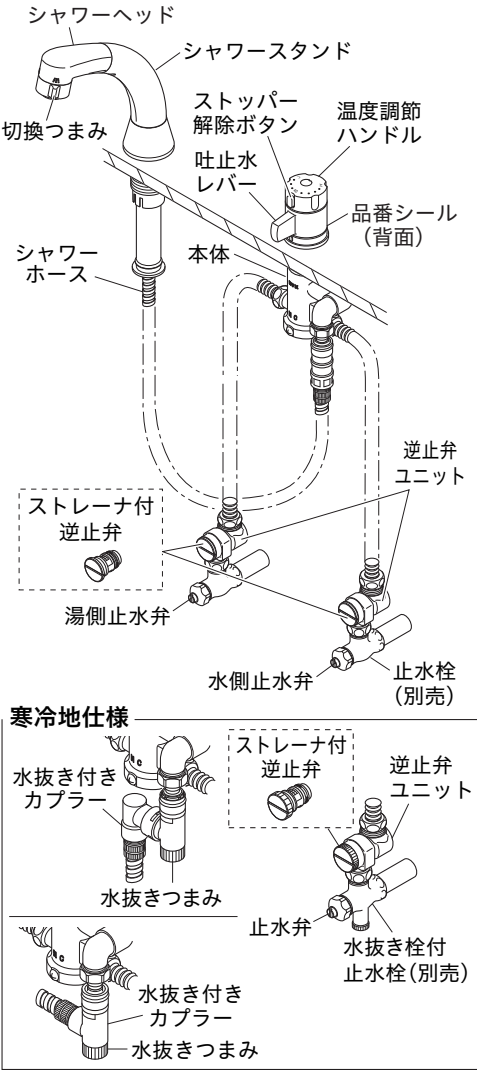


ご使用の前に / ご使用方法

給湯器の使用上のご注意

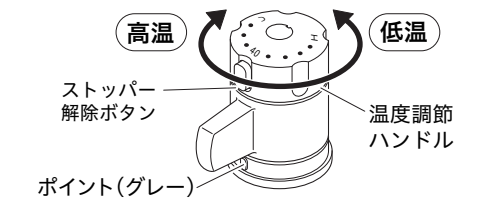
- 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。必要とする吐水温度[適温約40℃]が得られないことがあります。
- 吐止水レバーは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- 吐止水レバーを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐止水レバーで調節を行ってください)

各部の名称



温度調節方法

温度調節ハンドルの目盛をポイント(グレー)に合わせます。目盛「40」を目安にしてください。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度:約42～45℃)それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



吐止水方法

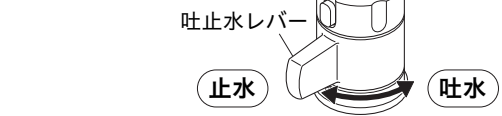
吐 水 吐止水レバーを反時計回りへ回すと吐水します。

止 水 吐止水レバーを時計回り方向へいっぱいまで回すと止水します。

【△警告】湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

【△注意】吐止水レバーはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【通水音が大きい場合】吐止水レバーを使用する際に通水音が大きい場合は、湯水の止水弁をしぼって吐止水レバーを全開にして使用してください。(流量の調節方法 参照)



止水時の水滴について

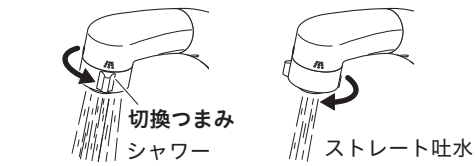
止水した時、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、シャワーヘッドこれはシャワーホース内の残留水です。異常ではありません。



吐水の切替方法

切替つまみを右へ回すとシャワー、左に回すとストレート吐水になります。

【お願い】切替操作は無理な力を加えずゆっくり操作してください。



シャワースタンドめっき仕様の場合

吐水切替ボタンの右を押すとストレート吐水、左を押すとシャワーになります。



めっき仕様の場合

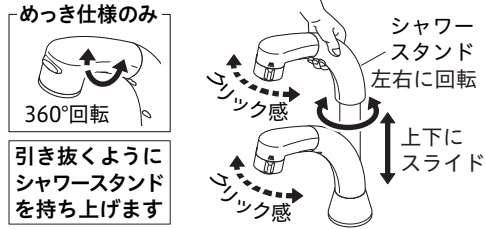
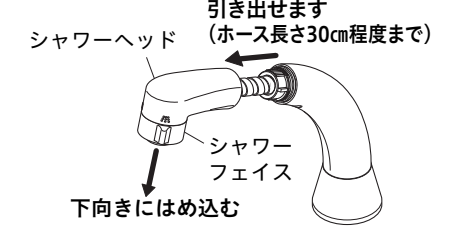
吐水切替ボタンの右を押すとシャワー、左を押すと泡まつ吐水になります。



シャワーヘッドの使用方法

シャワーヘッドは引き出して使えます。使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。

シャワースタンドはカチツ、カチツとクリック感があります。めっき仕様のみシャワーヘッドは360°回転します。



【△注意】シャワーヘッドを引き出しすぎないでください。ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【△注意】シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレイの設置をしてください。

【△注意】シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。



日常のお手入れ・保守1

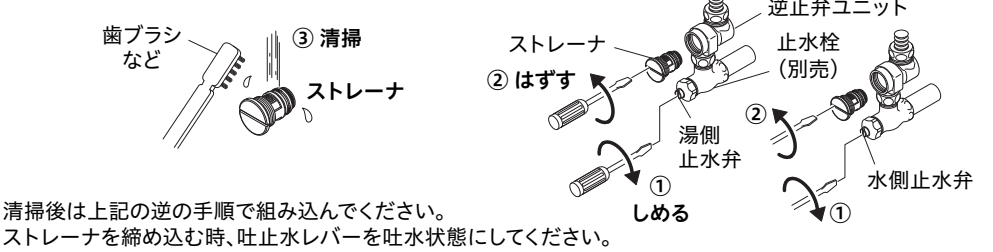
シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器の清掃方法

逆止弁ユニットのストレーナ清掃

逆止弁ユニットのストレーナにゴミが詰まると、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側逆止弁ユニットと止水栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- 湯水の止水弁[2か所]または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 湯側・水側のストレーナ[2個]を取りはずします。
- ゴミ・水アカ等を洗い流します。

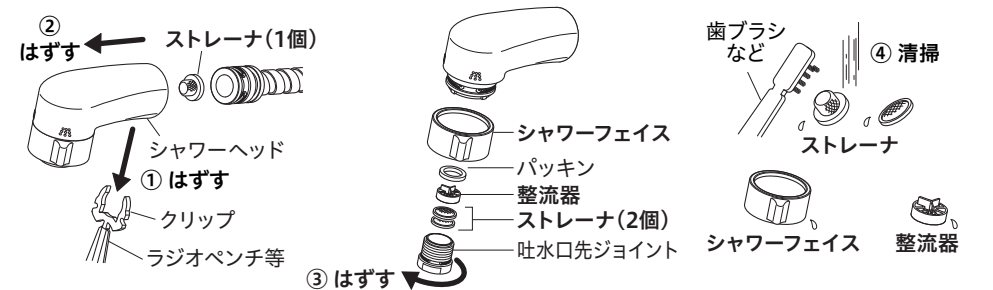


清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐止水レバーを吐水状態にしてください。

シャワーフェイス・ストレーナ・整流器の清掃方法

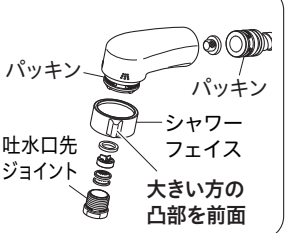
シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ・整流器にゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- シャワーヘッドを引き出し、ラジオペンチ等でクリップをはずします。
- シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- 吐水口先ジョイントを工具ではずし、シャワーフェイス・整流器・ストレーナ(2個)を取りはずします。
- シャワーフェイス・ストレーナ・整流器をブラシで水洗いします。



〈清掃後の組み立て〉

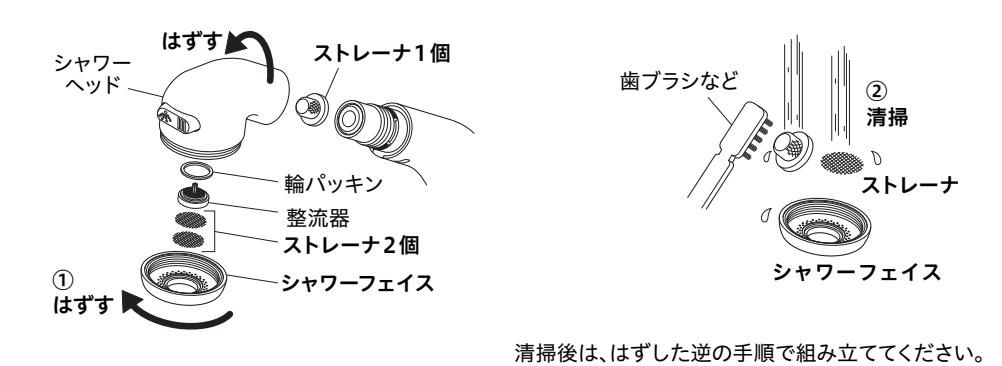
はずした逆の手順で組み立ててください。その際、シャワーヘッドのパッキンおよびシャワーホースのパッキンにゴミの付着がないか確認してください。シャワーフェイスを取り付ける際は、シャワーフェイスの大きい方の凸部を前面にして取り付けてください。吐水口先ジョイントは手締め後、工具で約1/3回転(約120度)増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約75N・cm)【お願い】吐水口先ジョイントを締め付けの際は、締め付けすぎないでください。締め付け過ぎると部品の破損または切替作動が重くなるおそれがあります。



シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナ清掃(シャワースタンドめっき仕様の場合)

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナが詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- シャワーヘッドの根元とシャワーフェイス内のストレーナ(計3個)を取りはずします。
- シャワーフェイス・ストレーナをブラシで水洗いします。

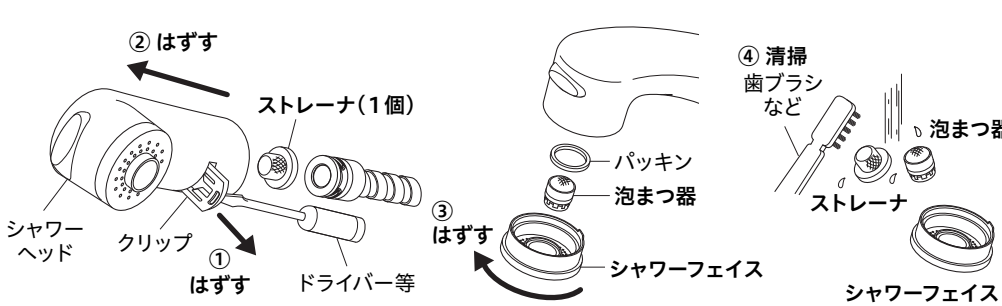


清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

シャワーヘッドの泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナ清掃(めっき仕様の場合)

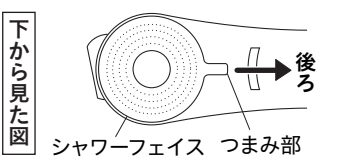
シャワーヘッドの泡まつ器・シャワーフェイス・ストレーナにゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ドライバー等でクリップをはずします。
- シャワーヘッドをはずし、ストレーナ(1個)を取りはずします。
- シャワーフェイスをはずして、泡まつ器を取りはずします。
- 泡まつ器、シャワーフェイス、ストレーナをブラシで水洗いします。



〈清掃後の組み立て〉

はずした逆の手順で組み立ててください。その際、シャワーフェイスを締め込む時、約2回転程締め込んで、シャワーフェイスつまみ部が後ろで止まるまで締め込んでください。【お願い】止まるまで締め込んだら、それ以上締め込まないでください。破損するおそれがあります。





## 日常のお手入れ・保守2

### お手入れ方法

#### 【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

#### 【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布でから拭きします。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。



#### 【使ってはいけないもの】

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



### 温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしています。取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズレている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

#### 【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・給湯温度50℃～60℃の湯が給湯できているか確かめてください。

① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。

【お願い】キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。

③ 精密ドライバーをキャップの切り欠き部に差し込みキャップをはずしてから、ねじをはずします。

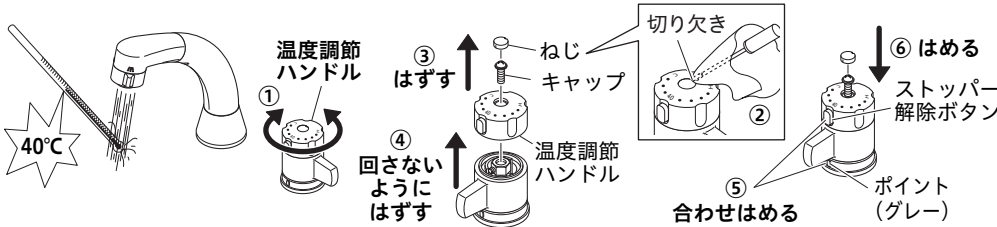
④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。

⑤ ポイント(グレー)にストッパー解除ボタンを合わせて温度調節ハンドルをはめます。

⑥ ねじでハンドルを固定し、キャップをはめ込みます。

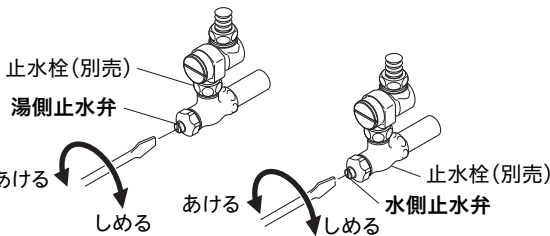
【お願い】取り付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

※ 目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



### 流量の調節方法(止水栓は本製品に同梱されていません。別売です)

流量の調節は右記の方法で行ってください。



図は一般地仕様です

## 凍結予防のしかた

● 水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。

凍結による部品の破損は、保証期間内でも有料修理となります。

● 凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

なお、氷点下になる場合は、凍結予防の処置をしてください。

【△警告】解氷機を使用する際は、水栓(給水・給湯管含む)には通電しないでください。水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【△注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。

怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 一般地仕様水栓の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ・水栓より少量の水を出しておきます。
- ・配管部などに布を巻きます。

### 寒冷地仕様水栓の場合

器具のみの水抜き (配管に水抜き栓がない場合)	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操 作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水元の水抜き栓の操作)
②		湯水の止水栓の止水弁(2か所)を締めます。
③	③	シャワーヘッドを洗面ボウルに下ろします。
④	④	吐止水レバーを吐水状態にします。
⑤	⑤	水抜き付きカプラーの水抜きつまみ(1か所)と、湯水の止水栓の水抜き栓(2か所)と、逆止弁ユニットのストレーナ(2か所)を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	(-1) 温度調節ハンドルを「H」に回して水を抜き、「C」に回して水を抜きます。 (-2) シャワーヘッドを振って中の水を抜きます。

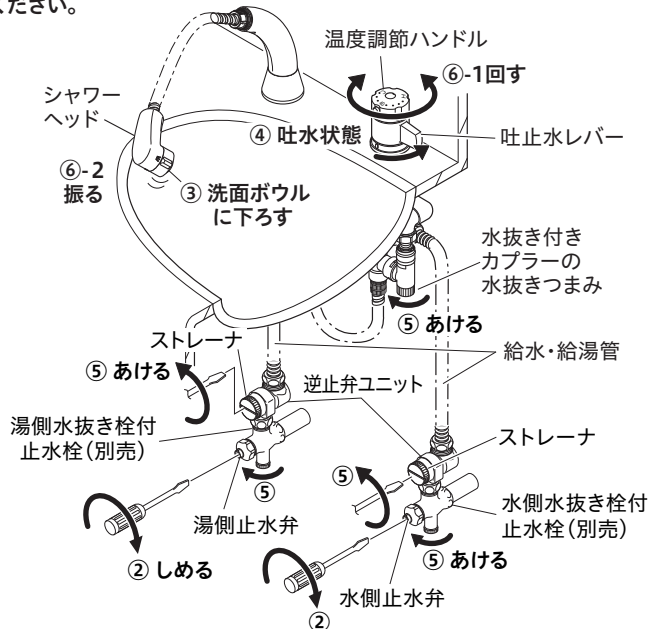
【△警告】湯側の逆止弁ユニットと止水栓の中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

#### 水抜き後 通水を再開する

【お願い】上記と逆の手順で操作して通水を再開してください。必ず水抜きつまみと水抜き栓がしまっていることを確認して、吐止水レバーを止水状態にしてからから通水してください。

#### 通水を再開しても水が出ない場合

吐止水レバーを吐水状態にして、しばらくお待ちください。これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象です。異常ではありません。



## 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

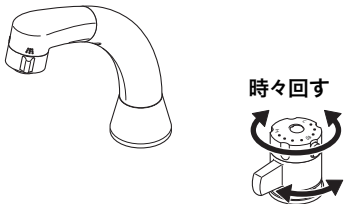
### 温度調節ハンドルの操作性(1ヶ月に1回程度)

#### 【△注意】

時々温度調節ハンドルをいっぱいに回してください。温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

#### 【吐止水レバーの操作性】

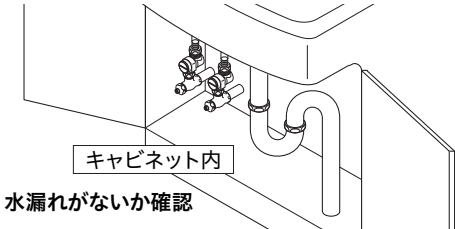
時々吐止水レバーをいっぱいに回してください。吐止水レバーを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、吐止水機能が損なわれるおそれがあります。



### 配管まわりの水漏れ(1か月に1回程度)

#### 【△注意】

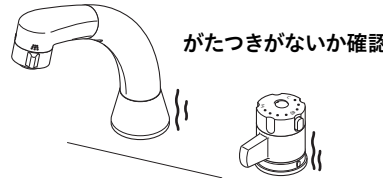
配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検を行ってください。



### 水栓取り付け部のがたつき(1か月に1回程度)

#### 【△注意】

水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。がたついたらまます使用になると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



## 定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数											
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年
お客様による日常のお手入れ・点検											
消耗部品の交換 (シャワーホース・バックシ等) [有料]											
摩耗劣化部品の交換 [有料]											
部品の交換 部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・摩耗劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等											
【△注意】中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は「各部の名称」をご覧ください。)											
部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。											
補修用部品の供給期間 この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。											

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です 故障ではありません		—
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器にゴミ等がつまっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器を清掃する	5・6ページ 「シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器の清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器は凍っていませんか	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器にぬるま湯をかける	—
	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に上げる		—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7ページ 「流量の調節方法」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器にゴミ等がつまっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器を清掃する	5・6ページ 「シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器の清掃方法」
吐水が飛び散る	温度調節ハンドルの設定は合っていますか	温度調節ハンドルの設定を確認する	7ページ 「温度調節ハンドルの設定方法」
	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器にゴミ等がつまっていませんか	シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器を清掃する	5・6ページ 「シャワーフェイス・ストレーナ・整流器・泡まつ器の清掃方法」
シャワーの吐水状態が不安定	給湯器の給湯温度を50℃～60℃に設定し、水側止水弁をしぼることにより、改善される場合があります。		—

#### 【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。